

製品名: IFNA2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12390**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	IFNA2
別名	
遺伝子 ID	3440.0
SwissProt ID	P01563
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

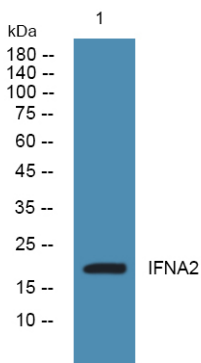
この遺伝子は、9番染色体上のαインターフェロン遺伝子クラスターのメンバーです。コードされているタンパク質は、ウイルス感染に反応して産生されるサイトカインです。このタンパク質の組み換え型の使用は、風邪の症状と持続期間を軽減するのに効果的です。

ることが示されています。[RefSeq 提供、2011 年 6 月],機能: マクロファージによって産生される IFN- α は、抗ウイルス活性を有します。インターフェロンは、タンパク質キナーゼとオリゴアデニル酸合成酵素という 2 つの酵素の産生を刺激します。、医薬品: Roferon-A (Roche 社) または Intron-A (Schering-Plough 社) という名称で入手可能です。抗増殖作用を持つことから、抗がん剤として使用されます。、多型: α -2a (ここに示す)、 α -2b、 α -2c の 3 つの型が存在します。、類似性: α/β インターフェロンファミリーに属します。、

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;オートファジーの制御;抗原処理および提示;Toll_Like;RIG-I 様受容体;細胞質 DNA 感知経路;Jak_STAT;ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害性;自己免疫甲状腺疾患;

画像データ



SW480 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、IFNA2 ウサギポリクローナル抗体を 1:1000 に希釈し、4°Cで一晩